

熊本交



県内の交通事故(令和5年11月30日現在)暫定			
区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	2,971	33	3,740
昨年	2,856	45	3,551
増減	+115	-12	+189

交通安全協会だより 第589号

令和6年1月 (一財)熊本県交通安全協会
 熊本県交通安全活動推進センター
 発行所 電話(096)-233-2110
 ホームページアドレス <http://www.kumamoto-ankyo.com/>



アクセスQRコード



回
覧

明けましておめでとうございます。
 県民の皆様には、平穏で健やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
 また、平素から、当協会の活動に対しまして、深いご理解と格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。
 昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行される中、各交通関係の機関・団体及び地域の交通ボランティア団体等の皆様が積極的にご活動いただいたおかげで、私達が取り組んでおります交通安全活動もコロナ禍前の軌道に戻りつつあり、前年には増加に転じた県下の交通事故死者数は、再び減少傾向となりました。
 ただ、依然として高齢者の交通事故死者数が全死者数の7割を超え、一時期減少したと思われた飲酒運転も、人と経済の流れが活発になるのに伴い増加の兆しが見られるなど、安全で安心な交通社会を体感する状況には至っておらず、些かも油断できない状況にあります。
 また、昨年4月に自転車乗車時のヘルメットの着用が努力義務化され、7月には「特定小型原動機付自転車(電動キックボード)」の通行方法等に関する道路交通法が改正、施行されましたが、こちらはまだまだ十分には県民の皆様には浸透するまでには至っておらず、特に、自転車乗車時のヘルメット着用の促進は、今後の課題であると感じております。
 一方で、日本自動車連盟(JAF)が実施した信号機のない横断歩道における車の一時停止率の調査結果では、本県は、66.1%と、5年前の8.8%から大きく上昇し、全国で4位、九州では1位という喜ばしい結果となりました。
 これも、本県が推奨する「横断歩道止まって渡す思いやりキャンペーン」が定着してきて、着実に県民の皆様交通安全意識やマナーが向上してきた結果であると感じているところです。
 このような情勢の中、当協会といたしましては、昨年、各種大会や講習会を開催したり、「全国交通安全運動」等の各種活動に参画するなどして、各種交通事故防止活動に取り組んでまいりました。
 中でも、4年ぶりに再開しました「交通安全子供自転車大会」では、選手の皆さんの交通ルールに則って一生懸命競技される姿や、その様子に一喜一憂される家族や関係者の皆様姿を見て、改めて、交通安全の大切さと交通安全活動が育む人の和を認識しました。
 本年も、「第11次熊本県交通安全計画」に示されている「24時間交通事故死者数40人以下、交通事故重傷者数370人以下」の更なる定着を目指し、県や県警をはじめ、各交通関係機関・団体と一層の連携を図り、各種交通安全対策に取り組む所存ですので、県民の皆様方には、当協会及び各地区の交通安全協会の活動や取組みに対し、益々のご支援とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。
 結びに、本年が県民の皆様にとりまして、幸多き一年となりますよう、心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

熊本中央地区交通安全協会 片桐 英彰	山鹿地区交通安全協会 牛島 健二	御船地区交通安全協会 池田 健吾	人吉地区交通安全協会 内谷 孝一
熊本南地区交通安全協会 角谷 安宣	菊池地区交通安全協会 出口 一生	山都地区交通安全協会 佐藤 今朝春	多良木地区交通安全協会 瀬崎 哲弘
熊本東地区交通安全協会 早川 典宏	大津地区交通安全協会 山本 敦史	宇城地区交通安全協会 須々美 哲	天草地区交通安全協会 緒方 孟繁
熊本北合志地区交通安全協会 田尻 一男	小国地区交通安全協会 渡邊 誠次	八代地区交通安全協会 三浦 賢治	上天草地区交通安全協会 中 直通
玉名地区交通安全協会 作本 幸男	阿蘇地区交通安全協会 岩下 哲三	芦北地区交通安全協会 松下 義一	牛深地区交通安全協会 中村 富人
荒尾地区交通安全協会 山口 賢一	阿蘇南部地区交通安全協会 大塚 弘倫	水俣地区交通安全協会 君島 徳昭	



年頭のごあいさつ



熊本県警察本部長 宮内 彰人

謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

県民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から警察行政の各般にわたり、格別の御理解と多大なる御支援を頂くとともに、地域、職場、家庭など、それぞれの立場において交通安全活動を推進していただいておりますことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、長期にわたって私たちの生活や社会活動に影響を与えた新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、これまで中止等の対応がなされていた各種イベント等が再開されるなど、コロナ禍以前の生活を取り戻した1年であったと思います。

そのような中、昨年の交通事故情勢につきましては、県内の交通事故死者が、統計史上最少となった令和3年と同水準となり、皆様の御協力、御尽力により、一定の成果が見られました。

一方、歩行者がお亡くなりになる交通事故は、交通死亡事故の中でも高い割合を占めており、課題も残りました。

また、全国的には普及が始まっているいわゆる電動キックボード等を含む特定小型原動機付自転車に関する法整備や、自転車のヘルメット着用努力義務化など社会情勢の変化に伴い法律やルールが見直されたところ です。

このような情勢を踏まえ、県警察では、令和3年に熊本県議会で可決された「熊本県の交通安全水準のさらなる向上に関する宣言決議」において県民一丸となって取り組むべき事項とされている「歩行者の安全確保」、「自転車安全利用の徹底」等に取り組んでいるところです。

特に歩行者の安全確保については、日本自動車連盟（JAF）による信号機のない横断歩道における一時停止率調査が、昨年、本県は66.1パーセントと前年から8.8パーセント上昇し、全国でも4番目に高いものであり、ドライバーの交通安全意識の向上が認められた結果でした。

今後も、本来あるべき姿である一時停止率100パーセントを目指し、関係機関等と連携して歩行者優先意識の醸成に努めてまいります。

また、本年も引き続き、歩行者、自転車に対する交通事故抑止対策等を推進し、県民の皆様が安全で安心して暮らせる熊本の実現に向け、全力を挙げて各種施策に取り組むこととしておりますので、今後も皆様の御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、本年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。



1月10日は「110番の日」

事件事故の緊急通報ダイヤル

110番

「いつ」「どこで」「何があったか」などをお尋ねします。近くに見える店舗や住所表示などで場所を教えてください。



メール等による110番

熊本県警察では、耳や言葉の不自由な方々のために「FAX110番」「メール110番」を設置しております。

★メール110番

kumamoto-police110
@deluxe.ocn.ne.jp

★FAX110番

096-382-2110

110番映像通報システム

皆様のご協力が素早い解決につながります!

110番通報後、受理した警察官が事件事故の現場を確認するため、映像通報システムによる画像送信を依頼することがあります。

通報した方の安全を確認し、撮影、送信の手順を説明しながら実施しますので、ご協力をお願いします。

秋の全国交通安全運動期間中の交通事故発生件数

今年度、実施されました本運動期間中の発生件数、死者数、負傷者数ともに前年と比べ減少となる結果でした。

期間中の運動にご尽力頂きました方々にお礼申し上げます。

期 間：9月21日(木)～30日(土)まで

発生件数：59件(前年比 -16件)

死 者：0人(前年比 -1人)

負 傷 者：72人(前年比 -31人)



お願い ★いたずら電話は絶対しないてください。★間違い電話にご注意ください。

お知らせ

令和5年10月1日から、熊本県運転免許センターで行っている運転免許関係手続きの**取扱日**が一部変更されています。なお、運転免許試験関係手続きに変更はありません。

取扱日の変更(運転免許センター)

※土曜日、祝日、振替休日及び年末年始(12月29日～1月3日)は閉庁日です。

変更前の取扱日
日曜日～金曜日

変更後の取扱日
日曜日～木曜日

1 運転免許証更新(優良、一般、違反、初回、高齢者)

○ただし、金曜日が免許証の有効期間の末日に当たる方等、やむを得ない事情がある場合は右下の問合せ先へお問い合わせください。(仕事が忙しく休みが取れない旨の理由ではお受けできません。)

2 運転免許証更新(経由更新等)

○ただし、金曜日が誕生日であり申請期間の末日に当たる方等、やむを得ない事情がある場合は右下の問合せ先へお問い合わせください。

3 運転免許証記載事項変更(氏名、住所の変更等)

4 運転免許申請取消(自主返納)

○ただし、金曜日が免許証の有効期間の末日に当たる方等、やむを得ない事情がある場合は右下の問合せ先へお問い合わせください。

5 運転経歴証明書

変更前の取扱日
月曜日～金曜日

変更後の取扱日
月曜日～木曜日

6 国外免許証

変更のない業務

運転免許証、運転経歴証明書の再交付等

●月曜日～金曜日に業務を取り扱います。

各警察署での運転免許証更新、他手続きについては各警察署もしくは熊本県警察本部運転免許課(代表)096-233-0110へお問い合わせください。

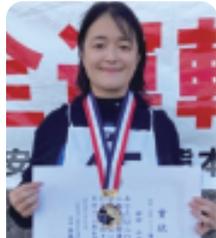
2023年 二輪車安全運転熊本県大会

10月15日、菊池郡菊陽町の県運転免許センターにおいて「2023年二輪車安全運転熊本県大会」を開催しました。

この大会は、当協会と県二輪車安全運転推進委員会の主催するもので、二輪車の運転技術と交通マナーの向上を図ることを目的に、高校生や一般の二輪車愛好家など27名が出場し、原付(男性)、原付(女性)、一般A/普通二輪(男性)、一般A/普通二輪(女性)、一般B/大型二輪(男性)の各クラスで安全運転の競技を行いました。競技結果(敬称略)は下記のとおりです。



原付クラス(男性) 優勝
鶴田 涼月(山都地区)



原付クラス(女性) 優勝
神田 みゆき(大津地区)



一般Aクラス(男性) 優勝
堂上 千颯(山都地区)



一般Aクラス(女性) 優勝
五所 愛華(山都地区)



一般Bクラス(男性) 優勝
幡 淳宣(宇城地区)

2位 前出 剛(熊本南地区)
3位 森木 聖一(熊本東地区)

2位 藤岡 博史(山都地区)
3位 竹岡 風馬(山都地区)

2位 井上 茂博(熊本東地区)
3位 永吉 孝幸(大津地区)

令和5年度

自転車安全教育指導員養成講習会

11月2日、県運転免許センターにおいて、「自転車安全教育指導員養成講習会」を開催しました。この講習会は、当協会と県自転車安全教育推進委員会が主催するもので、地域や職域における自転車指導員の育成を目的に、市町村役場の安全教育担当者や交通指導員など22名が受講しました。講習会では、最近の交通事故情勢や道路交通法改正点の講義、自転車の構造及び機能・点検整備の実務、交通安全教育講習員による自転車の交通安全教室の見学を行ったほか、今回から、日本赤十字社の講師を招き、AEDを使用した救急法も体験してもらいました。



各地区交通安全協会の活動だより



熊本中央

秋の全国交通安全運動の出発式を熊本中央警察署の会議室において実施した。



熊本南

春竹支部では、秋の全国交通安全運動の初日、白山通りにおいて、通行するドライバーに交通安全を呼びかけた。



熊本北合志

秋の全国交通安全運動の出発式を合志市役所において実施した。



玉名

大洋自動車学校の協力で、同校指導員から、玉名地区高齢者交通安全協議会員32名が、実技運転の指導を受けた。



荒尾

交通事故防止と交通安全意識の啓発を目的に道路標識等を活用したグランドゴルフ大会を開催した。



山鹿

鹿本支部では、来民門市前市において、来場者にチラシや反射材グッズ等を配布し、交通安全を呼びかけた。



菊池

第二さくら幼稚園において、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に、横断歩道の渡り方の交通安全教室を開催した。



大津

大津町において、翔陽高校の生徒による「DJ高校生ポリス」を実施した。



小国

秋の全国交通安全運動期間中、JA小国において、くまモンやゆっぴーと一緒に、交通安全教室を開催した。



阿蘇

国道57号線において、のぼり旗やハンドプレートを使って、早め点灯を呼びかけ、チラシや反射材を配布した。



阿蘇南部

高森保育園において、横断歩道の渡り方やシートベルト衝撃体験などの交通安全教室を開催した。



御船

熊本バス自動車学校において、管内4町対抗高齢者自動車安全運転競技大会を開催した。



山都

矢部中学校、矢部高校の生徒合同によるキャンペーンや山都町産トマトと反射材の配布を実施し、交通安全を呼びかけた。



宇城

イオンモール宇城において、「UKIうき交通安全・防災フェア」を開催した際に、自転車シミュレーターの体験を実施した。



八代

ひので保育園において、ダミー人形を使った実験やシートベルトコンブナーを使った体験型交通安全教室を開催した。



芦北

秋の全国交通安全運動期間中、国道3号線において、早めの点灯の呼びかけを実施した。



水俣

「ひのくにピカピカ運動」期間中、水俣インター付近で、早めの点灯、反射材着用を呼びかけた。



人吉

人吉市内の交差点において、熊本県早めの点灯一斉キャンペーンに伴い、早め点灯を呼びかけた。



多良木

多良木町役場において、高齢者に対し、交通安全体験学習を開催した。



天草

秋の全国交通安全運動期間中、天草市民センターにおいて、交通安全教室(寸劇)を開催した。



上天草

買い物客に対し、ドライバーへの上向き点灯の重要性と歩行者への反射材着用の重要性を呼びかけた。



牛深

秋の全国交通安全運動期間中、牛深警察署前において、「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーンを実施した。

